

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成26年7月18日	
都道府県知事 (市長)	殿
提出者 住 所 大分県臼杵市小野河辺2142番 氏 名 川瀬 妙子 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0972-65-3375	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	あだち農場
事業場の所在地	大分県臼杵市小野河辺2142番
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01農業
②事業の規模	母豚100頭、肥育豚1000頭
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 ①自ら堆肥化 動物の死体 ②処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 場長 (廃棄物統括責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (H 2 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2 9 0 0 t	4 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2 9 0 0 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（H25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2900 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化 排水処理(尿)後放流		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2900 t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（H25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1200 t	t
	(これまでに実施した取組) 同上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1200 t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量	t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者へ委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量	t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理業者へ委託処理		
※事務処理欄			